

# 平成30年春期 富岡第一地区推進連絡会 議事要旨

## 1 日時

平成30年3月24日（土） 17:00 ～19:00

## 2 場所

富岡ふれあいハウス

## 3 参加者

61名	（地域側）自治会等地域団体関係	35名
	学校、PTA関係	4名
	警察、消防関係	2名
	（支援チーム、その他行政側）	
	区役所	9名
	区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	11名

## 4 平成29年秋期 富岡第一地区推進連絡会の議事録確認

## 5 第3期金沢区地域福祉保健計画・地区別計画の振返りについて

・社協だより等により取組報告

## 6 小田中学校から報告（スライド投影）

・星野校長先生より、生徒の様子についてパワーポイントを使つての報告

## 7 意見交換（グループ討議）

テーマ1 小学校を活用した居場所づくり（グループA-1）

テーマ2 中学生の様子を知ろう（グループA-2）

テーマ3 自治会町内会で困っていること（グループB-1、B-2）

### 【小学校を活用した居場所づくり】

- ・例えば植栽のボランティアで、学校が土の作り方を伝え、自宅や地域の植栽の手入れに活かせる知識が得られるなど、学校にも手伝いに行った地域住民にもウィンウィンの関係がつけられると良い。
- ・小田っ子塾では高齢の方8名の方がボランティア活動しているが、算数を教える際は学校が教え方のレクチャーをしている。
- ・自転車の乗り方等を放課後キッズクラブの時間を使って教えてもらえるとありがたい。
- ・学校で地域住民と小学生と一緒に習い事をするとう良い。
- ・地域清掃で小学生はゴミを見てポイ捨てる人に腹が立ったとの感想を持った。そういう経験により地域への愛着が増し、成長を促すことにつながる。
- ・学校の教員や地域の負担を考えると、新たな活動をつくりだすより、既存の取組を一步進めた取組ができると良い。

- ・食をキーワードに考えると良いのではないか。給食は地域の人でも食べてみたいと思っている。食べることは人間関係を良好に保つ秘訣と思う。
- ・家庭科室を利用して子どもと一緒に料理をつくって、一緒に食べられる機会があればよい。
- ・子ども食堂を多世代が交流する場として学校で開催する。学校が会場だと参加しやすい。

【中学生の様子を知ろう】〈中学生の地域活動参加を促すために〉

- ・年中行事に参加してもらおう。  
もちつき大会：もちつきの付き手、保育ボラ、着ぐるみ係など。  
夏祭り：輪投げ等ゲーム、食べ物の販売や翌日の片づけに参加してもらおう。
- ・防災パトロールで地域を知ってもらおうのはどうか？
- ・スポーツ交流会、今年は中学生が部活動として参加。ソフトボールは4チームできたので盛り上がった。→種目がマンネリなので新しい種目を検討中。
- ・参加してくれた時、次につながるような対応をするべき。
- ・授業で行う“職業体験”を学校側・企業側で公開・公表してもらおうと、活動の状況がわかって良いのでは？
- ・部活動で、出張で発表や地域のサロンに茶道部が参加するのはどうか？  
→ブラスバンドなどは現在回数が多くこれ以上増やすのは難しい。茶道部は予算なども問題もある。学校で議題にかけて検討する事は出来るのではないか？（中学校校長）
- ・中学校で行われる地区別懇談会で地域の行事を紹介してもらおうと良いのではないか。

【自治会町内会で困っていること】〈主に役員不足、シニアクラブ会員不足〉

キーワード「横のつながりをつくる」

- ・後継者を育てるという意識を持ち関わる。
- ・楽しい会という口コミを広げる。→自分から加入するようになったら良い。
- ・区役所に転入時会長の名前を伝えてもらっている。電話がかかってくるので町内会の加入を勧めている。
- ・1年に1回ゴミの場所を変更している。
- ・啓発活動が大切。会員個人同志のつながりをもつことが大切。
- ・役員を受けた時から後継者を気にしている。特にシニアクラブ。
- ・シニアクラブの入会者は少ないが、無理に入ってもらっても合わない人がいるのでやめたほうが良い。現在は仲良く活動している。
- ・60歳以上になったからシニアクラブに入るとか強制的ではダメ。
- ・シニアクラブに入ってもらえないと良さがわからない。
- ・若い人と交流がしたくて駐車場を開放して暑気払いをしている。近隣の老若男女が来てコミュニケーションがとれている。シニアクラブ会員増加にもつながっている。(会費500円)

- ・趣味を通してお互いを分かり合うことが大切。
- ・役員の業務量は非常に多い。このことをみんな知っているから役員になることを敬遠する。役員業務の分業を図った方が良い。少しの業務であれば担ってくれる人もいるはず。協働の精神が大切。
- ・極論だが、町内会を合併するというやり方もある。(役員の数を減らせる。役員に回ってくる周期を伸ばせる。)
- ・イベントの時にお知らせするなど、働いた人が賞賛を受けるようなことをする。そうすることでやりがいもできるし、周りの人に役員の仕事のイメージを持ってもらえる。
- ・役割を年代で分ける。力仕事は若い世代、細かい仕事は高齢世代など。
- ・やる気のある人が続けられるよう、任期を延長できるようにする。
- ・業務を減らす。役所から頼まれる仕事が多すぎる。
- ・任期があることによって、いろいろな人が町内会に係れるので、任期を区切るべき。

## 8 情報提供

区役所：平成30年度個性ある区づくり推進費予算案等

小田小学校：木村校長先生、異動のあいさつ

小田中学校：行事予定表の配付

警察：振り込め詐欺等の注意喚起、交通事故発生状況